

働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

# Actaleia

[www.actaleia.com](http://www.actaleia.com)

January 2012

Vol.24

アクタレイア

無料



おおかえり  
フラガール!

Working × Woman / マルシア 由佳里

Working × Woman / マルヒア 由佳里

# おかえり フラガール!



## profile

スパリゾートハワイアンズ / マルヒア由佳里(まるひあ ゆかり) / 福島県いわき市出身。趣味で習い始めたフラダンスが楽しく、専門学校に通いながら「常磐音楽舞踏学院38期生」として本格的にフラダンスを学ぶ。学院終了後、スパリゾートハワイアンズでフラガールとして活動。2009年からはフラガールのリーダーとして活躍。

仙台市内は、ずいぶん活気を取り戻してきましたね。震災からもうすぐ1年、本格的に営業を再開する福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズ。建物への地震の被害、原発による風評被害、様々な苦難を乗り越えて、フラガールが舞台に戻ってきました。今回は、フラガールのリーダー、マルヒア由佳里さんにお話を伺いました。

## 震災で大きなダメージ

現在、スパリゾートハワイアンズでフラガールのリーダーとして活躍中のマルヒア由佳里さん。フラダンスを習っていた先生に、「受けてみたら？」とアドバイスをもらい、フラガールたちを養成する常磐音楽舞踏学院に入学。フラガールたちは、この学院でフラダンスの知識や技術を学び、舞台上に立ちます。現在、マルヒアさんはリーダーとして活躍、ソロ曲を担当するフラガールとしても重要な役割を担っています。

3月の東日本大震災で、スパリゾートハワイアンズは大きな被害を受けました。地震による建物の被害、そして原発の被害：マルヒ

アさんたちフラガールも、震災直後は、仕事はおろか日常生活にとても苦労されたそうです。「なかなか水道が復旧しなくて、飲み水は給水車が来るのを待ち、生活用水は川に汲みに行くという今迄にしたことのない生活でした。そのため、3月下旬までいわき市を離れての避難生活を送ることになり、「仕事に対する意欲も低くなっていました」。

## フラで元気を伝える

4月中旬、フラガールたちが震災後をはじめて全員顔をそろえました。建物の被害が甚大でスパリゾートハワイアンズの営業は当分できないとのこと、フラガールたち

# スパリゾートハワイアンズ 全面オープン!!




震災の影響で部分営業となっていたスパリゾートハワイアンズが、2012年2月8日に全面オープンすることとなりました。フラガールの舞台はもちろん、プール、温泉、宿泊も楽しめます。「フラガールに会いたい!」「全面オープンまで待てない!」という方は、すでに一部の施設は再開しショータイムも設定されていますので、充分お楽しみいただけます。

**Show Time** ショータイム

フラガールぎずなステージ  
期間限定特別公演

- フラガールポリネシアンレビュー:「希望」  
毎日13:30~
- いっしょに南国体験タイム:  
毎日16:00~
- グランドポリネシアンショー:「ぎずなの足跡」  
毎日21:10~

その他、ホームページでご確認ください



**平成24年2月7日までの営業時間**  
スパリゾートハワイアンズ 10:00~21:30

※混雑状況により開館が早まる場合があります  
※一部の施設は2月7日までご利用いただけません  
※ご利用料金などの詳細は、ホームページでご確認ください



## スパリゾートハワイアンズ

住 所: 〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蔵平50  
TEL: 0246-43-3191 (代)  
URL: <http://www.hawaiians.co.jp/>



は「復興」「福島」「元氣」をアピールするため全国巡業を行うことになりました。フラガールが全員無事だったこと、また全員が顔をそろえることができたこと、マルヒアさんの気持ちもどんどん前向きになっていったそうです。

震災があり、大変なことがたくさんありましたが、マルヒアさん

### 先を見ること

震災があり、大変なことがたくさんありましたが、マルヒアさん



5月3日、福島県いわき市の避難所を皮切りにフラガールたちの全国巡業がはじまりました。どこに行ってもあたたかく応援していただいたことが、とても励みになったそうです。フラガールたちの復興に向けての活動は、全国に広がり、映画や本・雑誌でも取り上げられていきました。建物の修復が進み、10月には一部オープンしたスパリゾートハワイアンズ、マルヒアさんたちは仮設の舞台でした「いわきで、スパリゾートハワイアンズで踊れることが嬉しかった」そうです。そして、とうとう全面再開が24年2月8日と決まりました。

**Message**  
for Working × Woman

震災以降、「踊れることができる幸せ」を感じました。全国のみなさんご声援に感謝し、これからもがんばっていきます。

は「これからのことを考える大切さ」をよく理解したのだそうです。後輩の育成、指導、ソコを担当できるメンバーの強化、そして自分の将来。スパリゾートハワイアンズの全面オープン時には、素晴らしい笑顔のマルヒアさんに会えるに違いありません。

# 私たちの新たな一歩

New Business Start Story

3月の震災から間もない6月。新しい会社が仙台で産声をあげました。「学びと旅の融合」「人と人とをむすぶ旅」というコンセプトを掲げ、第2種旅行業の認可も取得。今回は、新しい旅をつくろうと動き始めた「株式会社たびむすび」を紹介します。

## おなじみ、まなびのススめ

これまでアクタレイアの誌面の中でも、何度か紹介してきた「まなび旅」や「まなびのススめ」。お店をはじめた先輩の話や講座や、農業生産者の方のお話を聞いて畑で作物を見せってもらう講座など、ゆいネットのアクタレイア編集部では、教室の外でのまなびの場を提供してきました。



## まなびのススめの原型

2009年に株式会社ゆいネットでは、宮城大・仙台市観光コンベンション協会・株式会社日本旅行と連携し、「まなび」と「たび」の融合事業に取り組みました。「食材王国みやぎを学ぶまなび旅」として、講座とフィールドワークを組み合わせ、宮城の豊かな食材を深く知ってもらうための試みでした。この事業に取り組みなかで、「たびを通して人と人とをむすぶ」「人と地域をむすぶ」「そんな旅行会社があったら」と思っていました。

### 「まなびのススめ」

「まなび旅」は、そのときの経験をもちに、アクタレイアの読者の皆さんに向けて企画したものでした。



## 今やるべきこと

講座にしても旅行にしても、移動手段の手配や、宿泊の手配には「旅行業」の免許が必要で、ゆいネットの定款の中には旅行業の記載がないため、旅行会社を設立しようということになりました。準備が進む3月、東日本大震災が起きます。「震災直後には新しい会社を立ち上げることなど、考えられませんでした。ゆいネットの経営も大変でしたし、アクタレイアの発行もしばらくお休みしました。」



## たびが人を結ぶ「たびむすび」

しかし、これまで関わってきた生産者の方やまちづくりにかかわる方々、友人たちと会い、あらためてやるべきことが何か気付きました。「今だからこそ、被災地の支援に繋がる新しい事業として会社を立ち上げなくては。それが今できることでやるべきことなんだ」と。



6月、新会社

「株式会社たびむすび」が、たくさんのご支援をいただき設立の運びとなりました。設立後、被災地のボランティア

ツアーを企画するために大手の旅行会社が行った視察プログラムの作成や、復興支援のための政策提言を目的としたシンクタンクの視察のコーディネートなど、少しずつ実績をつくってきました。「豊かな自然や美味しい食、奥深い文化ももちろんですが、もっとも魅力的なのは、やはり東北に住む人々と私は思っています。現地に来て、みて、食べて、そこに住む人々と触れ合う。それが自分自身の成長につながるし、東北の復興に繋がっていく、と信じています」。

## これからの旅

今後、「まなび」につながる「旅」や「講座」をたくさん企画していきます。地域おこしの現場を見るツアー、復興に力を注ぐ人に会いに行くツアーや、先輩起業家訪問、あこがれのカフェ訪問、老舗旅館に学ぶ作法、消え行く伝統野菜を育て食べるツアー、とことん大豆をつかったヘルシーメニューを食べる講座、などなど、アイデア満載で皆さんをお誘いいたします。ぜひ「あの人に会いたい」「あの店の店主の話を知りたい」など、皆さんからのご希望やご要望をどしどしお聞かせください。



## たびむすび設立によせて

2000年9月に「有限会社（現・株式会社）ゆいネット」を設立しました。当時はパソコンの普及がこれから、という時期で、IT講習の仕事を中心にしていました。その後、IT講習、職業訓練などの教育事業を中心に、企業・個人へのIT化支援、CADを使った設計支援、当誌アクタレイアの発行などを行ってきました。

これまでIT講習や職業訓練を受講する生徒さんをたくさん拝見してきました。資格試験対策やパソコンの技術など、とてもがんばって受講してくれますが、それ以外にも社会人として必要なことをもっと学ばせてあげられないかなと思っていました。ビジネスマナーはもちろんですが、人と話をする力、相手の話を聞く力、あきらめないで続ける力、新しいことをどんどん発見していく力などです。

今思えば、時期を同じくして、農村漁村で働く方との仕事でのつながりや、宮城県沿岸部での旅行商品づくりをする方との出会いがあり、大きなきっかけとなりました。地域おこしの活動に奮闘する人、こだわりをもって仕事に挑む農業漁業の生産者の皆さん…地域の資源やそこに住んでいる人々と触れ合うことで私自身がたくさんのことを学ばせていただきました。

そんな魅力的な方々を、ゆいネットの生徒さん達にもぜひ会わせたいと思ったのが、たびむすび設立のそもそものきっかけだったのだと思います。

株式会社ゆいネットともども、よろしく願いいたします。

株式会社たびむすび 代表取締役 稲葉雅子



「ホヤの赤ちゃん」初めて見て声をあげる参加者の姿。南三陸町にて。

募集予告！

たびむすび

オープニング記念



## 「古民家にみる東日本大震災」日帰りバスツアー

東日本大震災ではたくさんの歴史的建造物が津波などの被害に遭い、宮城県に文化財として残る古民家も被災しました。このツアーでは、東日本大震災から一年経った被災地の現状を視察し、被災した古民家でオーナーのお話を伺って「あれから一年」を振り返ります。日程、参加費等の詳細は2月上旬発行のアクタレイアに掲載の予定です。

開催時期 3月下旬

お問い合わせ 株式会社 たびむすび  
TEL.022-748-6230

たびむすび

株式会社 たびむすび

企画開発室 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町1-43 仙台印刷工業団地協同組合FLight  
電話.022-748-6230

メール▶info@tabimusubi.co.jp WEB▶http://tabimusubi.co.jp/